

授業科目	ビジネスと法				単位	2		
履修	選択	関連資格				ナンバリング	TO31505J	
開講年次	3・4年	開講時期	前期	該当DP	DP1-1 DP1-3 DP2-1 DP3-1			
担当教員	高野 雄史							
授業概要	<p>ビジネスは契約で成り立っているといっても過言ではありません。そして、契約に関するルールは多岐にわたります。このルールを知ることは、ビジネスの世界を生き抜くために必要不可欠と言えます。本講義では、契約の基本ルールを学び、ビジネスにおける法的センスを養成することを目的とします。まず、一般法である民法の基本知識から学ぶことからスタートします。また、ビジネスの世界では、消費者と事業者の間で契約がされており、消費者契約に関するルールを知ることが重要です。そこで、消費者契約法、特定商取引法、割賦販売法、製造物責任法などの「消費者法」を扱います。そして、ビジネスでは、特許や商標、著作権などの知的財産が注目を集めていることから、知的財産法についても扱います。</p>							
学生が達成すべき行動目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 法学および契約の基礎を理解し、説明することができる。</li> <li>2. 消費者法の基礎を理解し、説明することができる。</li> <li>3. 知的財産制度についての基礎を理解し、説明することができる。</li> </ol>							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	80	20	0	0	0	0	100	
知識・理解 (DP1-1)	20	5					25	
知識・理解 (DP1-2)								
知識・理解 (DP1-3)	20	5					25	
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)								
思考・判断 (DP2-2)	20	5					25	
関心・意欲 (DP3-1)	20	5					25	
関心・意欲 (DP3-2)								
態度 (DP4-1)								
態度 (DP4-2)								
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)								
技能・表現 (DP5-2)								
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
ビジネスに関する法制度の基本的な知識を理解し、様々な社会問題を考える際に応用することができる。契約の法的しくみについて理解して、新聞等の資料を読み解くことができる。				ビジネスに関する法制度の基本的な知識を修得して、様々な社会問題を考えることができる。契約の法的しくみについて理解して、新聞等の資料を読むことができる。				
授業計画								
進行	テーマ・講義内容			授業の運営方法		学習課題(予習・復習)		予習・復習時間(分)
1	テーマ:ガイダンス(高野雄史) 本講義の進め方を説明し、法の役割について解説す			講義 小テスト		復習:該当部分の復習		60

	る。			
2	テーマ:私法入門1(高野雄史) 六法を概略して説明し、民法の構成について解説する。	講義 小テスト	復習:該当部分の復習	60
3	テーマ:私法入門2(高野雄史) 財産法のしくみ(売買契約、事務管理、不当利得、不法行為)について解説する。	講義 小テスト	復習:該当部分の復習	60
4	テーマ:契約法1(高野雄史) 契約の成立(人、意思能力、行為能力、法律行為、申込と承諾)について解説する。	講義 小テスト	復習:該当部分の復習	60
5	テーマ:契約法2(高野雄史) 契約の効力(債務不履行、危険負担、瑕疵担保責任)について解説する。	講義 小テスト	復習:該当部分の復習	60
6	テーマ:契約法3(高野雄史) 契約の終了・履行の確保(債権の消滅原因、人的担保・物的担保)について解説する。	講義 小テスト	復習:該当部分の復習	60
7	テーマ:消費者契約法1(高野雄史) 消費者契約法の概要(1条~3条、消費者団体訴訟)について解説する。	講義 小テスト	復習:該当部分の復習	60
8	テーマ:消費者契約法2(高野雄史) 消費者取消権(4条~7条)について解説する。	講義 小テスト	復習:該当部分の復習	60
9	テーマ:消費者契約法3(高野雄史) 不当条項規制(8条~10条)について解説する。	講義 小テスト	復習:該当部分の復習	60
10	テーマ:特定商取引法1(高野雄史) 特商法のしくみ(対象となる取引類型)について解説する。	講義 小テスト	復習:該当部分の復習	60
11	テーマ:特定商取引法2(高野雄史) 特商法のしくみ(取引類型ごとの特徴)について解説する。	講義 小テスト	復習:該当部分の復習	60
12	テーマ:割賦販売法(高野雄史) クレジットを利用した契約のしくみについて解説する。	講義 小テスト	復習:該当部分の復習	60
13	テーマ:製造物責任法(高野雄史) 製品トラブルに関する法的問題について解説する。	講義 小テスト	復習:該当部分の復習	60
14	テーマ:知的財産法1(高野雄史) 知的財産法(特許法、実用新案法、意匠法、商標法、著作権法、不正競争防止法)の基本的制度について解説する。	講義 小テスト	復習:該当部分の復習	60
15	テーマ:知的財産法2(高野雄史) 具体的な事例を用いて知的財産法(とくに商標法、著作権法)について解説する。	講義 小テスト	復習:該当部分の復習	60
16				
17				
18				
19				
20				
21				

22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	高等学校までの社会科等の基礎知識およびニュース・新聞等の時事問題への関心が必要です。			
テキスト	指定はありません。必要に応じてプリント配布します。			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	参考図書：米倉明『プレップ民法 <第5版>』弘文堂 1,700円＋税 参考図書：中田邦博、鹿野菜穂子編『基本講義 消費者法[第3版]』日本評論社 3,024円 その他、講義内で随時紹介します。			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	授業中に取り扱った内容について整理・復習するだけでなく、図書館や書店等でビジネスに関する法制度に関連する文献を探して読んでみましょう。また、日頃から社会的問題に関心を持ち、新聞などを読むようにしてください。			
達成度評価に関するコメント	試験および小テストの内容については、授業の中で指示・説明をします。			